

未収債権の目標及び具体処理策

所 属: 港区役所総務課

1. 債権名(債権区分)

源泉徴収税徴収不足金	区分: 私債権
------------	---------

2. 未収金残高の推移(目標)

26実績	1 千円	27実績	1 千円		
28目標	0 千円	28実績	1 千円	29目標	0 千円

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	26実績 -	27実績 -	28目標 -	28実績 -	29目標 -
	整理率	26実績 -	27実績 -	28目標 -	28実績 -	29目標 -
過年度	徴収率	26実績 0.0%	27実績 0.0%	28目標 100.0%	28実績 0.0%	29目標 100.0%
	整理率	26実績 0.0%	27実績 0.0%	28目標 100.0%	28実績 0.0%	29目標 100.0%

4. 28年度決算での未収金残高の状況

	合計	1 件	1 千円	1 人
(件数、金額、債務者数(実人数))	28年度賦課分	0 件	0 千円	
	27年度以前賦課分	1 件	1 千円	
回収債権	計	1 件	1 千円	
処分したもののうち、換価前のもの		0 件	0 千円	
分納暫約・徴収猶予等		0 件	0 千円	
交渉中		1 件	1 千円	
整理債権	計	0 件	0 千円	
処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの		0 件	0 千円	
執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの		0 件	0 千円	
時効年限を経過したもの		0 件	0 千円	
生活困窮状態で履行見込みのないもの		0 件	0 千円	
当該債権について破産による免責決定があるもの		0 件	0 千円	
相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの		0 件	0 千円	
死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの		0 件	0 千円	

5. 28年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
B1		B1

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

現年度の取組内容の検証など

28年度 取組内容	28年度 取組実績



課題	改善策

過年度の取組内容の検証など

28年度 取組内容	28年度 取組実績
引き続き、電話やメールによる対象者との連絡を取り続け、未収金の解消に向けて粘り強く対応する。	納入義務者の理解を得られず、未収金の解消に至っていない。金額が少額であり、督促のための郵送料等の費用の方が高くなるため、不納欠損の処理についても検討を始めた。



課題	改善策
納入義務者の理解が得られていない。	納入義務者と連絡を取り続け、未収金の解消に向けて粘り強く対応する。

6. 29年度の取組内容（5.「28年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること）

<p>現年度分</p> <p>過年度分</p> <p>引き続き、納入義務者へ理解を得られるよう、未収金の解消に向けて粘り強く対応する。</p>
--

(参考) 28年度実績及び29年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)